

2017 年度

派遣留学アメリカコース報告書

留学先：セントラル・ミズーリ大学

留学期間：8月23日（水）～12月8日（金）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016090
芳賀愛里子

目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4-1 留学のスケジュール	4
	4-2 履修コースの詳細	5
5	自己評価	8
6	反省・課題	8
	謝辞	9

付録

	課外活動・イベントの詳細	9
--	--------------	---

1 留学先及び留学期間

留学先：セントラル・ミズーリ大学

留学期間：平成 29 年 8 月 23 日（水）～平成 29 年 12 月 8 日（金）

※帰国は 12 月 9 日（土）

2 留学先概要

(1)大学について

アメリカコースの留学先であるセントラル・ミズーリ大学は、ミズーリ州のウォレンズバーグに位置する。UCM（University of Central Missouri）と略され、呼称されている。1871 年に設立され、ミズーリ州出身者以外にも多くの州や国からの学生が学んでいるため、寮も充実している。広大な大学内には飲食店、ジム、シアタールーム、ボウリング場、図書館などの施設があり、学生は好きな時に利用することができる。赤をイメージカラーとしているので、大学内のショップには赤を基調としたグッズが多く販売されている。また、毎日のようにどこかでイベントが開催されるので活気にあふれている。

(2)大学で行われている教育について

セントラル・ミズーリ大学には、世界各国から英語を学びにきた留学生を対象にした IEP（Intensive English Program）という制度がある。学生は最初にクラス分けテストを行い、3~4 つのレベルに応じたクラスに分けられる。クラスでは中国、韓国、ドバイ、パキスタンなどの国からきた学生と一緒に授業を受ける。基本的に教科書やテキストに沿った内容で授業が展開される。なかにはそれぞれの国を紹介したり話し合ったりすることもあるので、アメリカだけでなく、クラスメイトの様々な国の文化や特徴を学ぶことができる。約 3 ヶ月半の期間は Session1 と Session2 に分かれており、それぞれの期間に中間試験、期末試験が行われる。Session1 で好成績を収めたら Session2 では上のクラスに進むことができる。また週末には授業の一環として大学を離れ、アメリカの文化に触れることができる場所に行くことができる。

3 留学目的

日本から離れて外国での生活を体験してみたいというのが私個人としての留学目的であった。言葉、文化、食、宗教、歴史などの違いを実際に現地で体験し学ぶことによって、自分の物事に対する考え方や視野を広げ、将来に生かせる経験ができればと思った。また、ネイティブの人や様々な国の人たちと関われる機会など滅多にないことだと考え、このアメリカ留学に参加した。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った課外活動・イベントの詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	内 容
8	22 (火)	・新潟駅出発 (バスで成田空港近くのホテルへ)
	23 (水)	・ 10 時 40 分成田空港出発 ・ 8 時 10 分ダラス空港到着 (現地時間) ・ 12 時 55 分ダラス空港出発 ・ 14 時 35 分カンザスシティ空港到着 ・ 入寮
	24 (木)	・ 予防接種と採血 ・ 大学案内ツアー (学生証の発行、Wi-Fi の接続) ・ Walmart へ買い物
	25 (金)	・ クラス分けテスト (Listening & Reading) ・ ボウリングパーティー
	28 (月)	・ 授業開始 (Session1)
	31 (木)	・ 大学内でアメフト観戦
	9	8 (金)
10 (日)		
11 (月)		・ 中間試験 (Session1)
14 (木)		
22 (金)		
23 (土)		・ ミズーリ州会議事堂などを見学 (ジェファーソンシティ)
26 (火)		・ 美術館の見学、プラザで買い物 (カンザスシティ)
10	3 (火)	・ 期末試験 (Session1)
	4 (水)	
	7 (土)	・ Japan Festival に参加 (カンザスシティ)
	8 (日)	・ 大学内でミュージカル「Footloose」を鑑賞
	9 (月)	・ 授業開始 (Session2)
	14 (土)	・ ホームカミングパレードに参加
	16 (月)	・ 大学近くの教会、学校を見学
	27 (金)	・ Pumpkin Patch を見学

11	6 (月)	・ 中間試験 (Session2)
	9 (木)	
	11 (土)	・ Food Show に参加
	16 (木)	・ Thanksgiving Dinner に参加
	17 (金)	・ Thanksgiving Break
	26 (日)	
12	4 (月)	・ 期末試験 (Session2)
	5 (火)	
	6 (水)	・ 卒業アワード
	7 (木)	・ TOEIC 本番
	8 (金)	・ 3 時寮出発 ・ 6 時 30 分カンザスシティ空港出発 ・ 8 時シカゴ空港到着 ・ 12 時 50 分シカゴ空港出発
	9 (土)	・ 17 時成田空港到着 (日本時間) ・ 解散

4 - 2 履修コースの詳細

以下から授業の内容を記述する。

Session1 (8月28日～10月4日)

	月	火	水	木
9:00~10:50	Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills
11:00~12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar
13:00~13:50	Lunch Break			
14:00~14:50	Accent Reduction	American Culture	Accent Reduction	American Culture
15:00~15:50	American History	USA & Japan	American History	USA & Japan
16:00~16:50	TOEIC		TOEIC	Conversation Partner Hour

Session2 (10月9日~12月5日)

	月	火	水	木	金
9:00~10:50	Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills	10:00~11:50 Weekly Check-in
11:00~12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar	
13:00~13:50	Lunch Break				
14:00~14:50	Accent Reduction	American Culture	Accent Reduction	American Culture	
15:00~15:50	American History	USA & Japan	Writing Lab	Grammar Lab	
16:00~16:50	TOEIC		TOEIC	Conversation Partner	

※ 私自身レベル 6/7 の授業を受けていたので、Reading、Writing、Communication Skills、Grammar はレベル 6/7 の内容とする (Session1=レベル 6、Session2=レベル 7)。

i) Reading 6

2冊の教科書を使用した。1冊は速読、読解力を身につけるための教科書で、もう1冊は様々なトピックを取り上げ、その内容を読んでいくという教科書だった。単語の意味、教科書の内容の理解などに取り組んだ。

Reading 7

速読、読解力を身につける教科書は引き続き使用し、新たにフィクションの小説が授業に取り入れられた。小説を章ごとに読んで、理解できないところをグループやクラス全員で話し合った。最後にはその小説の映画を観て、小説と映画の違いを見つけた。

ii) Writing 6/7

1冊の教科書を参考にして、自分で決めたトピックのエッセーを Session ごとにそれぞれ1つずつ書いた。英文でのエッセーの書き方を1から学ぶことができ、参考文献の本を図書館に行って借りてくるということもあった。また、Timed Writing という与えられたトピックについてのエッセーを30分間で書くということを Session ごとに3回ずつ行った。

iii) Communication Skills 6/7

主にプレゼンテーションを行った。3~4人のグループと個人でのプレゼンを Session ごとに2回ずつ行った。グループはもちろん日本人以外とで、授業中に準備する時間があまり設けられなかったため、パワーポイントやスクリプトは放課後や休日に集まったりして

作成する必要があった。その他に教科書を1冊使用し、音源を聴いてノートテイキングの練習をした。また、教科書のトピックに沿った自分自身や自国についての質問や意見を話し合うグループディスカッションを行ったりした。

iv) Grammar 6/7

教科書に沿って中学、高校レベルの比較的難しくない文法を時間をかけて学んだ。1つの文法を学び終わるたびに小テストが行われた。主に3~4人のグループになって授業を進めた。毎週 Blue Book というノートに、学んだ文法を取り入れた文章を書く宿題が出された。

v) Accent Reduction

NUIS の生徒6人ほどとネイティブの学生2人で発音の練習をした。多くの人が苦手とする l, r, v, th、疑問文のイントネーション、感情の表現を徹底的に練習し、とにかく多く英語で会話することが求められた。毎回ゲーム感覚で行われた。

vi) American History

NUIS の生徒だけでの授業であった。アメリカの歴史を学び、実際に歴史ある教会や学校に行きスモアをつくったり、カボチャの絵付けなどの伝統的な行事もさせてもらった。Session2 からは本を貸し出され、それに沿って授業し、3人ほどのグループで歴史に関する絵本を読み理解、要約し、発表することもあった。

vii) TOEIC

NUIS の生徒だけでの授業であった。TOEIC のスコアを上げることが目的とされ、Session1 では Listening、Session2 では Reading を重点的に学んだ。プリントを中心に、5~6人のグループで分からないところを確認し合ったり、先生から解き方のコツを教わった。帰国前日には本番の TOEIC を行って、これまでの実力を試した。

viii) American Culture

NUIS の生徒全員と、数人の IEP 生徒での授業であった。アメリカの文化を学び、ペアでのプレゼンも何回かあった。ビデオを観たり、実際にアメリカの文化を目にする場所（カウフマン・スタジアム、ミズーリ州会議事堂、Pumpkin patch など）に行くこともあった。Thanksgiving day 前には先生たちが準備してくださった伝統料理をいただいた。

ix) USA & Japan

NUIS の生徒だけでの授業であった。アメリカと日本の文化の違い、共通の歴史などを学んだ。5人ほどのグループでの第二次世界大戦のプレゼン、最後には授業で学んだ全てを取り入れたペアでのプレゼンを行った。

x) Conversation Partner Hour

NUIS の生徒 1 人～2 人と英語圏の学生 1 人が会話したりゲームする時間であった。複数のグループでゲームすることもあった。基本的には毎週木曜日に行われたが、その時間以外にもパートナーと予定を合わせて会うことも可能であった。

xi) Writing Lab

Session2 から導入された。主に午前の Writing の復習、Timed Writing を行った。

xii) Grammar Lab

Session2 から導入された。主に午前の Grammar の復習、Blue Book の添削を行った。

xiii) Weekly Check-in

Session2 から導入された。Thanksgiving break の詳細、UCM やアメリカを 10 分間動画で紹介する Video Project の説明もあった。

xiv) Activity Buddy

NUIS の生徒 3～4 人と英語圏の学生 1 人で様々なイベントに参加したり、遊びに行ったりした。基本的には自分たちで連絡を取り合って、集まる日を決めていた。

5 自己評価

授業では英語しか通じない、店員と話すにも英語を話すしかないなど、必然的に英語での会話を強いられることに戸惑いや焦りを感じた時もあったが、先生やクラスメイトが助けてくれる場面が多くあり、自分が伝えたいことを相手と共有できたと感じた時は嬉しかった。アメリカでの生活は全て新鮮で、アメリカの日本とは違うところ、良いところを見つけるだけでなく、クラスメイトと自分たちの国について話している時は、違いや共通点はあれど、笑顔で互いの国を認め合うことができ、異文化理解の重要性をここにきてやっと実感できた気がした。出会った人たちはみんな親切で、私の拙い英語を理解しようとしてくれたことがとても嬉しかった。もし日本で外国人が困っていたら積極的に助けに行きたいと思う。

6 反省・課題

元からの友達と行動を共にすることが多かったり、授業への態度が消極的だったことが反省点として挙げられる。しかしこの 3 ヶ月半は今までで 1 番勉強し、世界を知る充実した期間だったと思う。この経験をこれからの資格取得や異文化理解、自分の人生につなげていきたい。

謝辞

今回お世話になった Valerie Heming 先生、Jill Thomas 先生を始め、親身になって指導して下さった全てのセントラル・ミズーリ大学の先生方、夕食に招待して下さったご家族の皆様、私たちの留学が安全に、有意義なものとなるように全てにおいてサポートして下さった藤本直生先生、矢口裕子先生、小林伊織先生、学務課の皆様、助言をくださった先輩方、その他この留学に携わって下さった全ての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。重ねて、新潟国際情報大学から頂いた奨学金のおかげで充実した留学となり、無事に帰国できたことに心より感謝いたします。

付録：課外活動・イベントの詳細

8月25日 金曜日
イベント：ボウリングパーティー
場所：大学内のボウリング場
内容 ・ IEP の学生、先生達と顔合わせ ・ いくつかのグループになってボウリングを楽しんだ

所感

大学内にボウリング場があることに驚いた。途中照明が落ちてライトアップされた空間がきれいだった。

8月31日 木曜日
イベント：アメフト観戦
場所：大学内のスタジアム
内容 ・ UCM のチームと同じミズーリ州の大学のチームの開幕戦

所感

シーズン開幕戦ということもあり、大学内もその周辺もお祭り騒ぎで、屋台が出ていたり、様々なイベントが催された。多くの人がイメージカラーである赤の UCM の T シャツやグッズを身に着けて応援していた。また、チアリーディング、マーチングバンド、飛行機のパフォーマンスがあり、非常ににぎやかだった。学生のみならず、近所の人たちも応援にかけつけるなど、大学と地域のつながりが強いように思えた。



9月8日 金曜日、9月10日 日曜日

イベント：メジャーリーグ観戦

場所：カウフマン・スタジアム（カンザスシティ）

内容

・カウフマン・スタジアムをホームとするロイヤルズとミネソタ・ツインズの試合を観戦

所感

8日は友達に、9日はAmerican Cultureの授業の一環として連れて行ってもらった。メジャーリーグの試合を観戦できるとは思っていなかったので、2回も観戦することができて嬉しかった。会場はホームのロイヤルズファンでいっぱいのため、対戦相手のツインズの攻撃時は盛り上がりせず、選手がホームランを打っても静かだった。逆にロイヤルズの選手がホームランを打つとものすごい盛り上がりを見せた。また、楽器を使った応援がないなど、日本のプロ野球との違いも見つけられた。



9月22日 金曜日

イベント：ジェファーソンシティの見学

場所：ミズーリ州会議事堂（ジェファーソンシティ）

内容

- ・ミズーリ州会議事堂を見学
- ・近くの施設でミズーリ州の歴史に関するビデオを視聴
- ・昼食はピクニック感覚で、帰りはバスの中でアイスを食べた

所感

American Culture の授業の一環でミズーリ州の州都であるジェファーソンシティに行った。ミズーリ州会議事堂は白を基調とし、歴史を物語る絵やオブジェが多数存在していた。案内役の方がゆっくり説明してくださったので、所々ではあるが聞き取ることができた。

9月23日 土曜日
イベント：カンザスシティの観光
場所：カンザスシティ
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・美術館の見学 ・プラザでの買い物、昼食

所感

大学からバスで1時間30分ほどの場所にあるカンザスシティのプラザへ行った。IEPの学生は申請すれば無料で行くことができた。基本的には自由行動で、美術館を見学したり、プラザで買い物、昼食をとったりした。服屋、レストランなどが多数ある都会だった。また、プラザは多くの噴水があると有名なので、それらを見て回ったりもした。

9月26日 火曜日
イベント：映画鑑賞
場所：大学外の映画館
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・大学外の映画館で映画鑑賞 ・各自好きな映画を鑑賞した

所感

大学からバスで15分ほどの場所にある映画館で上映されている観たい映画を1本鑑賞することができた。もちろん英語で字幕などなかったが、所々聞き取ることができ、内容をおおよそ理解することができた。帰りは映画が終わった順からバスで送ってもらい、寮に帰った。

10月7日 土曜日
イベント：Japan Festival
場所：カンザスシティの大学
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化を紹介したり、実際に体験することができるイベント

所感

USA & Japan の授業の一環として参加した。太鼓や習字、折り紙などを体験できたり、日本食を食べることができたイベントであった。日本のアニメのグッズや雑貨なども販売されてあった。

10月8日 日曜日
イベント：ミュージカル「Footloose」を鑑賞
場所：大学内の劇場
内容 ・学生たち主演、主催のミュージカルを鑑賞

所感

歌とダンスに華があり、ロマンスや感動的なシーンもあるアメリカの代表的なミュージカルを鑑賞することができた。地域の人も観に来るなど、ミュージカルは多くのアメリカ人に愛されているのだと感じた。

10月14日 土曜日
イベント：ホームカミングパーティー
場所：大学内、大学周辺
内容 ・様々な国の学生たちが自分たちの国の伝統衣装を着て、大学周辺を歩く ・子ども達にお菓子を配る

所感

日本からあらかじめ持ってきた浴衣を着て大学周辺を子ども達にお菓子を配りながら歩いた。多くの NUIS の学生は JSO(Japanese Student Organization)に所属しており、UCM に在学中の他の日本人の皆さんと一緒にパレードに参加した。様々な国の伝統衣装を見ることができ、とても華やかだった。

10月16日 月曜日
イベント：教会、学校の見学
場所：大学周辺
内容 ・大学周辺の教会、学校に行き、その地域の歴史を学んだ ・2つ目に行った教会ではスモア、カボチャの絵付けを体験した

所感

American History の授業の一環として大学からバスですぐ近くの歴史ある教会、学校に行った。管理者の方による地域周辺の歴史や建物の説明を聞き、中を見学した。さらに移動し、2つ目に行った教会では外でソーセージを自分たちで焼いたり、伝統的

なデザートであるスモアをつくった。その後は中に入ってパイプオルガンの音色を聴き、カボチャの絵付けをし、ハロウィンのゲームをした。

10月27日 金曜日
イベント：Pumpkin Patch の見学
場所：Pumpkin Patch
内容 ・カボチャの畑を見学 ・アップルサイダー、リンゴの試食

所感

American Culture の授業の一環として大学からバスで 20 分ほどのところにあるカボチャ畑に行った。トラクターでカボチャ畑まで行き、ハロウィンに使用するために売られているオレンジ色の大きなカボチャを見たり、写真を撮った。また、リンゴをそのまま搾っただけのアップルサイダーという飲み物を飲んだり、キャラメルソースにリンゴをディップして食べた。馬、ブタ、七面鳥などの動物もいた。



11月11日 土曜日
イベント：Food Show
場所：大学内
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSOとしてイベントに参加 ・各国の留学生が自分たちの国の伝統料理をつくり、ふるまう ・前日に食堂で下ごしらえ ・当日に仕上げ、会場に運び、参加者にふるまった

所感

お好み焼き、漬物、カレー、炊き込みご飯、大学芋、みたらし団子、照り焼きなどの日本食を作って参加者にふるまった。私は大学芋を担当し、芋が日本とは異なるオレンジ色で、味や見た目が少し変わったものの、友達や先生と協力してつくりあげた。日本食は大変人気で、スタートと同時に行列ができた。その他にも韓国、パキスタン、アフリカなどの料理を堪能した。

11月16日 木曜日
イベント：Thanksgiving Dinner
場所：大学外の会場
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの Thanksgiving day に食べられる伝統料理をいただいた ・テーブルの配置、飾りつけを American Culture の生徒達で準備した ・先生達が料理したものがふるまわれた ・Conversation Partner など、友達を呼ぶことも可能であった

所感

American Culture の授業の一環として大学からすぐ近くの会場を借りて、Thanksgiving day に食べられるアメリカの伝統料理をいただいた。先生たちが準備してくださった七面鳥、キャセロール、マッシュポテト、グリーンビーン、ケーキなどを食べる事ができた。テーブルの上には授業中に個人で作成した料理のレシピや、感謝したい人などを載せたポスターが配置された。



11月17日 金曜日～26日 日曜日
イベント：Thanksgiving Break
場所：各自自由行動
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Thanksgiving day のための休暇 ・ 多くの学生が帰省するため寮、食堂が閉鎖 ・ 食事は先生達が用意してくださった ・ 大学周辺に住む日本人家族や、アメリカ人家族に夕食をごちそうになることもあった ・ NUIS の生徒は休暇を利用して各々旅に出掛けた

所感

約10日間の休暇であった。寮や食堂が閉まったが、NUISの生徒はそのまま残ることができた。自分たちで食事をとることが困難だったため、食事は全て先生達や、現地の家族の方達が用意してくださった。先生達は毎日寮に来てくださり、私達が食べたい朝食を買ってきたり、レストランに連れて行ってくださった。日本人家族の方達

には教会で日本食をごちそうになり、アメリカ人家族の方達には寮まで送り迎えをしていただき、お家で家庭料理をごちそうになった。また NUIS の生徒は行きたいところの交通機関、ホテル、チケットなどを事前に自分たちで用意し計画を立て、各々旅に出掛けた。行くところの詳細は事前に先生達に伝えておいた。私は友達と 2 人でカンザスシティ 4 泊 5 日の旅に出掛けた。電車でカンザスシティまで行き、バスを利用して動物園、水族館、テーマパーク、スケート、買い物などを楽しみ、Thanksgiving day 当日はプラザに行ってライトアップのイベントに参加した。不安はあったものの、自分たちの力で行きたいところ全てを回ることができ、素晴らしい経験となった。



12月6日 水曜日
イベント：卒業アワード
場所：大学内の会場
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IEP の生徒達への卒業証明書授与式 ・ 生徒達はドレスアップして参加 ・ 司会、スピーチ、イベント進行係は代表の IEP の生徒達で行われた ・ エッセーコンテストの表彰式も行われた ・ 最後は写真撮影会となった

所感

全ての IEP の生徒のための卒業セレモニーであった。生徒達はドレスアップして参加し、IEP に関わる先生や関係者の方が集まった。会場には飲み物や軽食も用意され、生徒達は 1 人ずつ名前を呼ばれ卒業証明書を受け取り、先生達と握手を交わした。私はレベル 6/7 のスピーチ代表に選ばれたので、約 1 ヶ月前から担当の先生と何回も打ち合わせして、文章を考えたり練習を行った。こんな大勢の前で話す機会など今までなかったため緊張したものの、なんとか終わることができ、自分の成長を感じ取ることができた。最後はステージ上のスクリーンに映し出されたスライドショーで今までの活動を振り返り、別れを惜しむように先生達やクラスメイトと写真を撮った。